

【事務事業調査】

事務事業名	食に関する知識の普及事業費		予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業	
				001-040102 - 003 - 03 - 01 - 0	
担当部課	住民生活部 健康福祉課	担当 サリダー	健康づくり 田中圭子	事業の分類	既存事業

事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	健康たかねざわ元気計画、ハートごはん条例や20年度に策定予定の食育地産地消推進行動計画に基づき次のような事業を実施する。各年代に合わせた食教育を開催し、特に中高年におけるメタボリックシンドローム対策の教室を充実する。園・学校と協力し、幼児・児童生徒や保護者を対象とした教室や講話を実施し、毎月19日の食育の日にのぼり旗を掲げ啓発をする。園・学校のおたより、広報等を活用し簡単朝ごはんレシピや3食バランスよく食べることの大切さを周知する。「朝ごはんレシピ集」を配布し、朝ごはんを食べることや家族そろって食事をするの大切さを紹介する。食物を育てることや、料理体験(生涯学習課、産業課、こどもみらい課の体験事業に絡めていく)を実施する。体験教室や食教育のなかで、安心安全な食材の知識を普及し、	正しい食生活を通して、生涯にわたっていきいきと暮らすことができるための知識を習得し、生活習慣病の予防と改善につながる。身近な指導の場を活用することにより、正しい食生活への習慣づけができ、健康な生活を送る力を身に付けさせることができる。「朝ごはんレシピ集」を用いた簡単な料理や手軽な工夫から、正しい生活習慣の知識の習得につなげられる。生産の苦労や喜びを感じ、自然への感謝の気持ちを養うとともに、地元食材への理解が深まり積極的に利用するようになる。地元野菜の販売先のツタツラサや元気あつむら、さらに庭先販売農家へのPRにつながる。
実績	乳幼児健診や相談に合わせて食指導を実施。遊びの教室で手作りおやつを紹介、成人の健診後のメタボ予防に合わせて食指導を実施。学校での行事や授業に合わせて職指導を実施。小学生の親子を対象に親子料理教室を開催。多数の親子が参加。保育園、幼稚園で食育の日の啓発を実施。各学校のおたより、給食の献立表で食育や地産地消について啓発を実施。毎月広報へ「簡単朝ごはんレシピ」を掲載。「簡単朝ごはんレシピ集」を小中学生を通じて家庭へ配布。授業で活用したり、町の栄養教室で活用。生涯学習課の「どろんこ道場」での体験事業への協力。センター前庭の空きスペースを利用した土地で野菜を栽培し、遊びの教室へ参加した親子で収穫をした。	食育地産地消推進行動計画を策定する過程で、学校や園での取組を見直したり今後の方向性を示したりしたことで、食育への取組をそれぞれの立場で考えるようになったため、広い年代に食指導を行う機会ができた。常勤的に栄養士を配置したことで、計画的に食指導を行うことができ、様々な事業の少しの時間で食指導を取り入れることができた。簡単な試食を取り入れたり、ちょっとした工夫をレクチャーすることにより、試してみようという意欲を持たせた。事業の参加者へのアンケートで「糖分に注意するようになった」「手作りのおやつを作ってみた」「食材や栄養を気にするようになった」等の意見が多数あった。多くの人に指導を行うことで、意識づけにつながっていったと思う。

活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
食事を1日3食食べる人の割合	85%	89.7%	

事業費(計画)

細 節	金 額
1 賃金	1,942,000
2 消耗品費	140,000
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	2,082,000

事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 賃金	1,896,000
2 消耗品費	140,000
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	2,036,000

事業費(実績)

細 節	金 額	特記事項
1 賃金	1,799,063	
2 消耗品費	88,698	
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	1,887,761	

事業経費

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		2,036,000	
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額		2,036,000	
決 算	決算額		1,887,761	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金		89,400	調理実習材料費 @300×298名
	その他の特定財源			
	計	0	89,400	
	差引(一般財源)	2,082,000	1,798,361	